

審議会等の会議の記録

会議の名称	令和6年度第3回市史編さん委員会
開催日時	令和7年3月17日(月)午前10時30分～11時00分
開催場所	伊勢崎市図書館2階集会室
出席者氏名	(委員) 三好委員長、小林副委員長、相川委員、青木委員、桜井委員、前澤委員、野口委員、三井委員、栗田委員、永島委員、定形委員 (オブザーバー) 吹上文化財保護課長、出浦埋蔵文化財係長(事務局) 二上教育部副部長、和佐田図書館課長、町田奉仕係長、勢藤市史編さん係長、和久市史編さん係長、古越主査
傍聴人数	0人(公開)
会議の議題	(1) 令和6年度の活動報告 (2) 令和7年度の事業について
会議資料の内容	(1) 令和6年度の活動報告 (2) 令和7年度の事業について
会議における議事の経過及び発言の要旨	<p>1. 開会 2. 報告</p> <p>●令和6年度の活動報告について 資料に基づき、事務局より令和6年度における市史編さんの活動報告を行った。</p> <p>(質疑)</p> <p>委員 シンポジウムについて、来場者にレジュメを用意してほしいとの意見を出したが、パンフレットが素晴らしく、こういったものがほしかった。</p> <p>委員 編さん委員会で小学生、中学生など子供たちとのつながりを工夫しなさいというご指摘を受けて専門委員会でも協議した。第1回シンポジウムの経験から、子どもの素朴な質問に答えることは難しく、そのギャップに面白さがあることがわかった。今回は事前に質問を集めて中学生の生徒さんに代表で質問してもらおう形をとった。これも新しい試みの一つで、子どもの参加は今後伊勢崎の特徴にしていきたい。</p> <p>事務局 子供たちの参加については、市史を通して歴史を学ぶことについて次世代へ伝えることを念頭にしている。</p> <p>委員 調査成果を報告する概報や略報とか月報とかは考えていないのか。隔月でも季刊でも良いので、月報などがあれば周知にもなるし宣伝に使えと思う。</p> <p>事務局 月報は負担が大きく考えていない。市史編さんだよりに今後は調査の状況を掲載していきたい。まとめたものとして、民俗部会などは現在東地区の調査をしているが、調査が終わった時点で報告をまとめることを考えている。また専門委員会では市史研究の刊行については検討中である。事務局体制次第だが、できるだけいろいろな機会に周知していけたらと思っている。</p>

	<p>議長 シンポジウムなどを開催する中で、調査研究をする方々から直接市民向けに発表していただく機会もあるので、いろいろな方法で市民への周知をお願いしたい。</p> <p>3. 協議</p> <p>●令和7年度の活動予定について 資料に基づき、事務局より令和7年度における市史編さんの活動予定について説明を行った。</p> <p>(質 疑)</p> <p>委員 自然部会の鳥グループのパネル展示については、できれば市内の各図書館で巡回展示をしていただきたいが、スペースの都合もあるので、伊勢崎市図書館での開催期間に他の図書館にミニコーナーを作り、伊勢崎市図書館での展示を宣伝していただければと思う。</p> <p>事務局 せっかくいただきましたご意見なので今後検討したい。</p> <p>委員 自然部会は部長を中心に熱心に調査研究活動を行っていただいている。伊勢崎は渡り鳥にとって非常に興味深い特徴的な地域であることなども聞いている。これまで知られていない自然環境を知っていただく機会になるかと思う。</p> <p>委員 次年度のシンポジウムは中世部会によるものとのことだが、女堀の開発と浅間の噴火について関連があるという考え方なのか。</p> <p>事務局 中世部会でも議論になっているが、決定的ではないと思うので直接的に結び付けていいかどうかはわからない。シンポジウムの話を部会で話した時に、歴史の専門的な話だけではなく今身近に感じられるようなものをテーマにした方がいいのではという意見が出た。そこで災害や防災につなげられるようなものになった。ご指摘のこともあるので、こじつけになってしまおうと問題になるので現時点では検討段階である。</p> <p>●令和7年度の活動予定については、事務局案のとおり承認された。</p> <p>4. 閉会 次回令和7年7月開催予定。</p>
--	---